円山小学校
学校だより

まどかっ子

令和７年５月２３日
第７号

交通安全教室

　21日(水)に、交通安全教室が行われました。1年生は歩道のない道の安全な歩き方や横断歩道の安全な渡り方を習い、その後、校区の道を実際に歩いて歩行訓練しました。3年生は自転車に乗る前の点検の仕方や自転車の安全な運転の仕方を習った後、学校の校庭で正しい運転技術を身に付けました。

命を守る大切な学習だね。

手をあげて左右の確認をしたよ。

正しく運転するって実は難しい

校庭を広く使って正しい運転技術を練習したよ。

警察の方々、交通安全協会の方々、保護者ボランティアの方々等、たくさんの方々に支えられて実施できた行事でした。この日は特に暑い日でしたが最後まで本当にありがとうございました。おかげ様で、子供たちは「自分の命を自分で守る」という一番大事なこと学ぶことができました。ありがとうございました。

校長室より

【交通安全教室を終えて】

３年生の自転車教室が始まる前に「校長先生のお話をお聞きしましょう。」の時間があった。大抵の行事の前には短い時間ではあるが私にも話をする機会を与えてもらえる。「今日は何を話そうか。そうだ、まず子供たちの実態を知ろう。」と思い、いくつかの質問をしてみた。　校長→○、児童→★

○「普段どのくらい自転車に乗っていますか？」

★「ほとんど乗らない」→１割程度、「たまに乗る」→６割程度、「ほぼ毎日乗る」→３割程度

○「自分は自転車の運転が上手だと思う人」

★６割程度が手を挙げる。

○「今、手を挙げた人に聞きます。なぜ自分は上手だと思うのですか？」

★「立ち乗りができる。」「片手運転ができる。」「手放し運転ができる。」と返ってきた。

これには驚きである。一部の児童の発言ではあるが、真顔で発言している様子を見ると、ふざけているのではなさそうである。だから余計に怖い。

○「校長先生が思う上手な自転車の乗り方は、①ヘルメットをきちんとかぶって運転すること②交通ルールを必ず守って運転すること③安全に慎重に運転することだと思う。」と伝え、その後、警察の方からたっぷりと正しい運転の仕方について教えていただいた。

自転車に関する道路交通法の整備が進んでいるのは、それだけ事故や危険運転が増加しているということだろう。自転車の運転は「正しいルールや技術を身に付け自分の命は自分で守る。」ことや「正しく運転し他者を危険にさらさない。」ことが大前提である。自転車は便利な道具ではあるが、使い方によっては事故につながる場合もある。これを機会に、今一度ご家庭でも話題にしていただけるとありがたい。